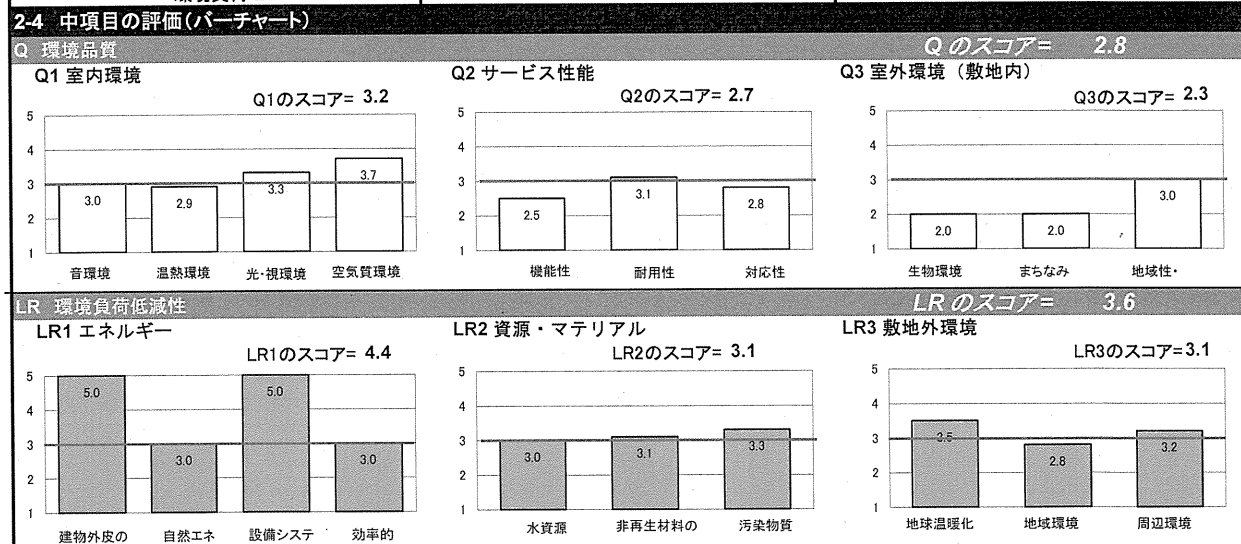
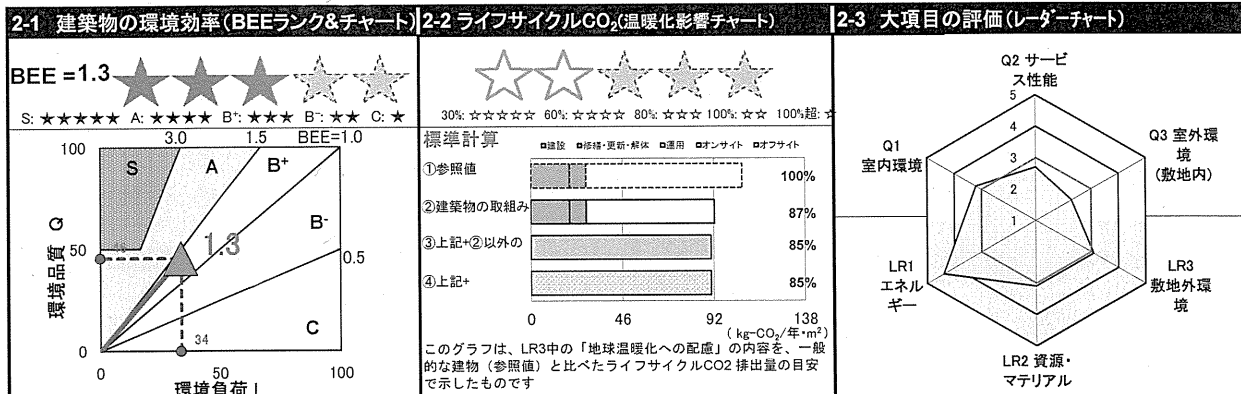


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)京田辺市河原御影計画	階数	地上5F	
建設地	京都府京田辺市河原御影30番8 他4	構造	RC造	
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)、準	平均居住人員	211 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2025年6月10日	
敷地面積	2,919 m ²	作成者	北和建設株式会社一級建築士事務所 株式会社 日企設計 一級建築士事務所	
建築面積	1,587 m ²	確認日	2025年6月10日	
延床面積	6,645 m ²	確認者	北和建設株式会社一級建築士事務所 株式会社 日企設計 一級建築士事務所	



3 設計上の配慮事項		
総合 建物利用者の快適な生活環境を維持するため建築物の耐用年数を高め、省エネルギー性等で環境にも配慮している。		その他 特に無し
Q1 室内環境 断熱等性能等級 等級5の取得や、F★★★★の建材を使用するなど、室内の温熱環境やシックハウス対策に配慮している。	Q2 サービス性能 劣化対策等級 等級3、更新必要間隔の長い給排水配管等で建物の耐用年数に配慮している	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内にできる限り緑地を設けて良好な温熱環境に心がけている。
LR1 エネルギー 断熱等性能等級 等級5を取得、LED照明などで省エネに配慮している。	LR2 資源・マテリアル ノンフロン断熱材の採用やリサイクル材を使用し、資源の有効利用を心がけている。	LR3 敷地外環境 長寿命の躯体や高効率な設備により、ライフサイクルCO₂の排出を抑制し、地球温暖化に配慮をしている。また、屋外広告物照明の設置は行わないなど、敷地外環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される